

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| <p>【総合政策部】</p> <p>1 市町村振興事業 特別会計</p> | <p>13,805,379</p> <p>財収 18,029 繰入 9,461,719 繰越 1 諸収 4,325,630</p> | <p>13,711,167</p> <p>財収 61,219 繰入 8,986,435 繰越 1 諸収 4,663,512</p> | <p>13,711,167</p> <p>財収 61,219 繰入 8,986,435 繰越 1 諸収 4,663,512</p> | <p>1 埼玉県ふるさと創造資金 23億円 市町村を総合的に支援する制度の一環として、「地域づくりの支援」の観点から、ふるさと創造資金の見直しを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新(仮称)地域づくり支援枠 12億円 (までは地域振興枠) (仮称)魅力ある地域づくり事業 新(仮称)地域づくり提案[成果重視型、<u>比率1/2</u>]、 コミュニティ施設特別整備、観光資源魅力アップ、 広域連携支援 (仮称)地域づくり基盤整備事業 市町村道路整備、市町村治水 ・合併推進枠 1億円 〔合併準備支援、法定合併協議会助成〕 ・緊急重点事業推進枠 10億円 〔自主防犯パトロール支援、子どもの安心・安全対策、 花でもてなす埼玉支援、子どもたちを地域で育む、 緊急市町村道安全対策、<u>みんなに親しまれる</u> <u>駅づくり(地域振興枠から移行)</u>、 <u>震災に強いまちづくり(地域振興枠から移行)</u>、 市町村緊急支援〕 <p>2 埼玉県分権推進交付金 6億8,643万5千円</p> <p>3 埼玉県ふるさと創造貸付金 60億円</p> <p>4 繰出金 23億1,718万3千円</p> <p>5 市町村振興基金積立金 24億754万9千円</p> |
| <p>【審査の考え方】</p> <p>自立を目指す市町村への支援を一層効果的なものとするため、埼玉県ふるさと創造資金の見直しを行い、要求額を措置した。</p> | | | | |

総合政策部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 2 埼玉高速鉄道株式会社 経営安定化対策費 | 3,295,364 〔県債 2,246,000 一財 1,049,364〕 | 3,180,680 〔県債 2,174,000 一財 1,006,680〕 | 3,180,680 〔県債 2,174,000 一財 1,006,680〕 | <p>埼玉高速鉄道(株)が金融機関から安定的に資金調達できるよう、経営健全化支援計画に基づき資金的援助を行う</p> <p>1 出資金 24億1,665万円 債務超過及び資金ショートを回避するための増資</p> <p>2 経営安定化対策補助 7億6,400万円 単年度損失を縮減するため、建設費借入金の償還金利息相当額を補助する</p> <p>3 埼玉高速鉄道首長会議 3万円</p> |
| <p>【審査の考え方】</p> <p>埼玉高速鉄道(株)に対し計画的な資金的援助を継続する必要性を認め、要求額を措置するとともに、債務負担行為の設定を承認した。</p> | | | | |
| 3 埼玉高速鉄道線 損失補償 (債務負担行為) | | 限度額 | 承認 | <p>鉄道建設・運輸施設整備支援機構(旧鉄建公団)から譲渡された区間の譲渡価格の償還にあたり、金融機関から借り入れた資金に対する損失補償</p> |
| 4 地下鉄7号線延伸線 基本計画調査費 | 17,000 〔一財 17,000〕 | 14,000 〔一財 14,000〕 | 14,000 〔一財 14,000〕 | <p>地下鉄7号線延伸線基本計画調査 1,400万円 埼玉高速鉄道検討委員会から提言を受けた課題の解決に向けた調査を行う〔平成17年度～平成19年度〕 ・調査主体：さいたま市(県は調査費の1/2を負担)</p> <p><平成19年度調査内容> 過年度調査総括、駅計画等の深度化、平成17年国勢調査に基づく需要予測・採算性検討、埼玉高速鉄道延伸検討委員会の開催</p> |
| <p>【審査の考え方】</p> <p>埼玉高速鉄道検討委員会から提言を受けた課題について、さいたま市と共同で引き続き調査を行う必要性を認め、要求額を措置した。</p> | | | | |

総合政策部